

# MECCだより

武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会広報紙 第47号 2018年 7月

## もくじ

- 第30回環境寄席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・林家カレー子  
「東村山中央公園 冒険遊び場」について・・・・・・・・・・宇野哲夫  
神田川サミット2017 in 文京・・・・・・・・・・・・・・・・・・保坂公人  
平成30年度環境カウンセラー全国連合会総会・・・・・・・・・・望月真

## 第30回環境寄席

林家カレー子



環境をテーマに漫才に取り組み26年、回数にして30回目の環境寄席を今年5月に迎えることが出来ました。今迄支えてくださいました沢山の皆様に、心から感謝申し上げます。

苦楽を共に、この日の準備をしていたライスが、会を目前にした2月24日、脳内出血で急逝、残念でなりません。平成4年から新しいジャンルの“環境漫才”に共に挑戦してきたパートナーであり、幾つもの山河を乗り越えてきた戦友でもありました。亡くなる前日に、市のごみ総合対策課より「来年の環境寄席の日取りはいつに致しますか？」と問われ「5月25日（土）でお願いします」と、本人が予約をして逝ったのです。このタイミングは凄すぎです。残された者には、遺言になってしまいました。

そもそもライス・カレー子なぜ環境を語り始めたのか。ライスの場合、父親の戦死が深く関わっています。ボルネオで戦火に倒れた父親の慰霊にジャングルへ通う中で、森林が伐採されて様変わりする自然破壊の姿に、自然保護の意識が目覚め、92年以降10年間“環境視察ツアー”を行いました。その間テロや鳥インフルエンザ問題も起き苦労しましたが、その国の環境事情がよくわかりました。東南アジアでは宿泊したホテルの裏に小さな池があり、泡まみれのイグアナが苦しそうに泳いでました。ホテルから垂れ流されるシャンプーやせっけんが原因です。ハワイの遊覧船では、タバコのポイ捨て禁止が、マイクで繰り返し流されていましたが、ボルネオのクルージングでは、一切注意もなく、暗闇の中でタバコの吸い殻がホタルのように飛び交っていました。この経験から、「環境問題は、うるさいぐらい訴えて丁度いい!!」と身に沁みて感じました。

私は37年前、娘のPTA活動で、羽村市のごみ処理施設見学をした事が因となっています。分別していない混合ごみが焼却炉に与える影響を目の当たりにし、本当に驚きました。

その後です。市内のスナックで、生ごみに、プラとボトルの瓶が混ざってる光景を目撃したのは・・・。行政に訴えた時に、行政指導だけでは無理で、市民の協力が必要です！」と。

じゃー私達は私達で出来ることで、環境問題に携わって行こう!!と腹が決まったのです。

活動を続けていく中、平成15年電通本社で環境漫才の機会があり、その場に居合わせた環境副大臣他省の方から“環のくらし応援団”の一員に誘われ、平成16年度の環境カウンセラーと続きました。「思いは地球規模で、行動は足もとから」のスローガン通り、これからもライスの意志を継いで頑張っています。よろしくお願い致します。



新ユニット“林家まる子・カレー子”

## 「東村山中央公園 冒険遊び場」について

宇野 哲夫

これは東村山中央公園の雑木林に幾つもの単純な仕掛けを作り、子供たちが精一杯身体を動かして遊べるようにした子供主役の遊び場である。「冒険遊び場」が正式名で、通常は「プレイパーク」と呼んでおり、都内に十数か所設置されている。

### 1. 開催日と時間

毎月（8月を除く）第2土曜日 10:00～14:00

### 2. 場所

中央公園東側雑木林中100×70メートルの場所。中に50メートル四方の草地広場が含まれる。

### 3. プレイパーク主催者

7人がボランティアとして活動している。

### 4. プレイパークへの参加者

大部分が小学生と思われる。低学年は親子連れ、高学年は友達同士。保育園児は先生に連れられて来る。中学生も来ることもある。

### 5. 遊び用具

① ターザンロープ：高さ10メートルほどの枝から吊るしたロープ。下端に足掛けが付いている。最大10メートルぐらい揺らすことができ、直径10メートルぐらいの円を水平に描くことができる。

② ハイジブランコ：高さ10メートルほどの枝から吊るしたブランコ。下端に座るところが付いている。最大10メートルぐらい揺らすことができる。

③ ハンモック：丈夫な布で作った5メートルほどの長さで、2本の立木に取り付ける。子供3人がはいれ、他の子供が外から大きく揺らして遊ぶ。揺らし方も真横ぐらいになる。

④ 水平ロープ：帯状の丈夫なロープ（約10メートル）を2本の立木に結び付ける。高さは50センチほど。2本の竹棒をつかって、ロープの上を歩く。

⑤ 木工：材料は木片と釘、道具はノコギリと金槌。これだけで子供たちに、やりたいようにやらせる。人気があるのはノコギリ。都会の子供はノコギリを使うチャンスが殆ど無いらしい。

⑥ 焚火：湯沸かし、焼き芋などに使用。安全確保のため、地面での直火は禁止。市販のカマドとエコストーブ（参照：アウトドア書）を使用。

⑦ チャンバラ：安全のため木棒をクッションで包んである。通常の叩き方では痛みは殆ど無い。



⑧ 竹馬

⑨ 布すべり台：丈夫な布（1×8メートル）を2本の木の間に傾斜をつけて設置する（次ページ写真参照）

「冒険」という語を付けているだけに、多少の危険性があり、それが子供たちの人気を獲得している。

### 6. 基本的なルール

主催者はプレイパークを始める前に、遊び用具などを設定し、終わったら全て片付け、元の自然のままの雑木林に戻す。



### 7. 管理形態など

管理は東京都東村山中央公園管理事務所で毎回開催

届けを出す。当方で使用する備品の多くは管理事務所で保管し、毎回電動運搬車で会場まで運んでもらっている。園内拡声器によってプレイパークを紹介されることがある。焚火用コンロ使用は東村山消防署に届けている。安全性は親と一緒に遊ぶことで確保し、焚火はプレイパーク主催者が常時付いている。

### 8. 子供の動きの特徴

遊び効果と安全確保のため観察は重要。2点述べる。

① 精一杯の動きをする(これが大人との最大の違い)。移動するときは必ず走る。

② 自分の体重は両手で支えられる。

9. その他。今後の計画、他グループとの情報交換などもあるが今回は省略する。

## 神田川サミット2017 in 文京

副題：江戸の水。東京の水。今、わたくしたちが考えるべきこと

日時・場所：2017年11月18日(土) 東京都水道歴史博物館(東京都文京区本郷)

主催：神田川ネットワーク 共催：東京都水道歴史館

協力：NPO 武蔵野多摩環境カウンセラー協議会 後援：文京区、千代田区、中央区

保坂 公人

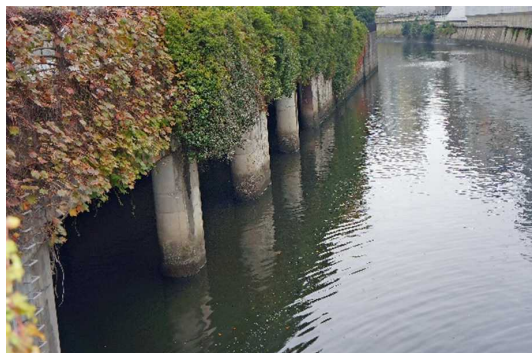
### 第1部

10:00～11:05 水道歴史博物館見学

11:05～11:40 神田上水遺構を訪ねる散策



移築復元された神田上水石樋



現在の神田川分水路(飯田橋)

### 第2部

12:30～15:30 講演会及び質疑応答

(1)「神田上水の遺構について」金子智さん

(2)「神田上水と房州の船大工」山口勝治さん

(3)「玉川上水分水網を日本遺産にしよう」山崎善弘さん

(4)「ENBの地球温暖化防止への取組み」澤谷精さん



パワーポイントも駆使した講演に聞きいる参加者

交流会 15:40～16:30

参加者

第1部 一般参加16名 スタッフ8名 計24名

第2部 一般参加26名 スタッフ9名 計35名

交流会 一般参加10名 スタッフ8名 計18名

外部講師 3名

# 環境カウンセラー全国連合会総会

日時 2018年6月22日(金)13:15～17:30 (～18:45 懇親会)

場所 エッサム神田ホール(東京都千代田区)

参加 望月ほか二人

副理事長 望月 眞

## 総会議事

現理事長の佐々木氏が議長として選任され、以下の議案について審議された。

### 第1号議案 平成29年度事業報告

- ・正会員は30団体で前年より増減なし、賛助会員は法人1(東京家政大学)、個人3名
- ・主な報告事項
  - ・環境カウンセラー制度の課題について国会質疑(2017.4.18)元環境大臣斎藤鉄夫衆議院議員が質問、山本環境大臣他が答弁。
  - ・山本環境大臣との面談(2017.6.21)
  - ・化学物質リスクアセスメント初級講座千葉地区(2017.7.11)
  - ・関東地区環境カウンセラー研修(2017.10.23)
  - ・中川環境大臣との面談(2017.10.31)
  - ・エコプロダクツ展2017出展(2017.12.12)
  - ・元文科大臣下村衆議院議員表敬訪問(2017.12.20)
  - ・環境カウンセラー利活用促進広報(2018.1.9)
  - ・第1回環境カウンセラーESD学会(2018.2.17)

### 第2号議案 平成29年度決算報告

- ・経常収益:4,182千円 経常費用:5,455千円  
損益:△1,273千円 繰越:1,794千円

### 第3号議案 平成30年度事業計画

#### ・主な事業計画

環境カウンセラー全国事務局受託への取組み、管理運営業務の一極集中回避、寄付金募集強化、政策提言の活性化、ESD学会等による出版活動、人材認定・育成事業(環境教育インストラクター認定、化学物質リスクアセスメント講習、ESDサポートスペシャリスト認定、他)

### 第4号議案:平成30年度予算

- ・経常収益 19,390千円 経常費用 18,875千円  
損益 515千円

### 第5号議案:定款変更

理事長他幹部に業務が集中している現状を踏まえ、権限委譲による業務の分散化

### 第6号議案:役員改選

新たに8名の方が理事になられたほか、佐々木氏が理事長を重任することが議決された。

総会顕彰は環境大臣表彰4件、ECU環境大賞1件、炭谷賞1件の他、8名がECU理事長表彰された。

総会後の記念講演は寺木秀一新潟薬科大学教授「新学習要領とESD」。国連で採択されたSDGs(Sustainable Development Goals)と新学習要領及びESDとの繋がりをわかりやすく説明されていた。終了後、別室にての懇親会では環境省環境教育推進室 田代室長補佐が冒頭挨拶され、盛会のうちに閉幕した。



ECU環境大賞として表彰された「日野市ふだん着でCO<sub>2</sub>を減らそう実行委員会」賞状贈呈式(本年4月24日 後列右端筆者)



総会会場にて寺木秀一教授講演

発行者: NPO 武蔵野多摩環境カウンセラー協議会(MECC)事務局  
〒180-0011 東京都武蔵野市八幡町3-1-1 稲田 昂  
TEL: 042-646-3822  
ホームページ: <http://www.mecc.or.jp/>

編集者: 望月 眞